

## (2) 学習指導案の作成

この学習指導案はP.D8の指導計画にある学習目標②⑦を達成させるために、2人組で証明をつくりあげる主体的な学習活動を位置づけた指導過程の実際として、以下のように作成した。

### ② 指導過程

### ① 本時の指導目標

図形の性質について、三角形の合同条件を適用して、筋道を立てて口頭で説明できるようにし、正しい推論のしかたを理解させる。

	学習内容・活動	時	フローチャート	指導上の留意点・準備
前提条件確認	1. レデネテストで前時の学習事項を確認する。 ○ 三角形の合同条件 ○ 平行四辺形の性質 ○ 記号、用語	5分		○ プリント
見通し	2. 本時の学習課題を把握する。 課題 右の図で、ABとCDが等しく、ABとCDが平行のとき、 $OA=OD$ となることを証明せよ。	5分		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Rテストを指示する。</li> <li>○ 正答を示し、本時のレデネをそろえる。</li> <li>○ 下位の生徒への指導を配慮する。</li> </ul>
課題	3. 2人組で証明をつくりあげる。 ○ 証明の根拠となる条件 ○ 仮定～結論の筋道を考える ○ 証明をまとめる	15分		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時のねらいを板書し、ノートさせる。</li> <li>○ 学習内容を説明し、本時の見通しを把握させる。</li> <li>○ 学習課題をTPで提示する。</li> </ul>
	評価 G① 2人組の学習で証明をつくりあげることができたか。			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題の図をノートにいいねいに作図させる。</li> <li>○ 仮定を青、結論を赤で印をつけさせる。</li> <li>○ 2人組をつくり、課題の証明を協力し合っ てつくりあげよう学習方法を説明して、学 習形態を整える。</li> <li>○ いろいろな観点から証明を考えることが大 切であることを知らせる。</li> </ul>
解決	4. 証明を口頭で発表する。 ○ 平行線の性質 ○ 合同条件 ○ 仮定～結論	15分		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ つくりあげた証明を整理し、あいまいな点 を検討してまとめるよう指導していく。</li> <li>○ 個別指導する。</li> <li>○ たしかめは挙手とする。</li> </ul>
まとめ予告	5. 本時の学習のまとめと次時の予告をきく。 ○ 根拠となる条件 ○ 図形の性質	7分		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一斉学習の形態にし、まとめて証明を OHPの図を見ながら口頭で発表させる。</li> </ul>
評価	6. 本時の学習の到達度を確認テストで確かめる。 ○ 記号を用いた表現 ○ 根拠となる条件 ○ 図形の性質	3分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話しことばでよいことを知らせる。</li> <li>○ 口頭発表をきき、自分たちの証明とくらべ 補足や筋道の訂正などについて指導させる。</li> <li>○ 生徒の口頭発表のことばをそのままOHP で見せて正しい推論で述べられているかど うかを確認する。</li> <li>○ この証明が図形のどんな基本性質や根拠と なる条件を用いているかそのしくみを図示 してまとめる。</li> <li>○ 確認テストの問題はOHPで提示する。</li> <li>○ 解答し、正答率を調べる。</li> <li>○ できない生徒をチェックしておき、治療指 導をする。</li> </ul>	